

日 時：令和5年6月15日(木) 13:30

場 所：市役所 政策会議室

出席者：市長、教育長、理事、政策推進室長、総務部長、福祉部長、市民協働部長、地域振興部長、建設部長、教育次長、消防長、観光交流課長、政策推進室長補佐、秘書係長

取材者：読売新聞社、朝日新聞社、岩手日報社、東海新報社、毎日新聞社、河北新報社、NHK

(敬称略、順不同)

市長挨拶

本日の記者会見は、今年度第1回目となります。どうぞよろしくお願いします。

まず、私から、今月4日に当市で開催されました全国植樹祭につきまして、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、全国から大勢の方々に参加していただき、成功裏に終了いたしました。開催地の陸前高田市におきましても、大会に参加された関係者の皆様、特に長い時間をかけて準備をしてくださった学校の生徒さん、多くの皆様にも会場周辺の環境を整えていただくなど、式典や両陛下をお迎えするにあたり、様々なご支援の活動をしてくださった市民団体の方々やボランティアの方々に心から御礼を申し上げます。

また、数日前から市内各所で交通規制が行われ、市民の皆様にもご協力いただきました。改めて、この場で感謝を申し上げます。

明日から市議会の定例会が開会いたします。後で担当の部課長より、この件につきましてご説明させていただきます。

さらに、今月25日からアメリカのクレセントシティ市から訪問団の皆様が陸前高田にいらっしゃいます。東日本大震災で流された高田高等学校の実習船「かもめ」によって結ばれた奇跡のような友好関係ができてから、今年で10年という節目の年を迎えます。これまでクレセントシティの皆様には、陸前高田市への心のこもった感動的な対応を何度もしていただいております。私はクレセントシティの皆様と初めてお会いすることになりますので、非常に楽しみにしております。今回の訪問を契機として、この友好関係がさらに強固なもの、将来にわたってしっかりと発展していくようなものになるように取り組みたいと思っています。

私からの話は以上でございます。本日はよろしくお願いします。

会見項目

(1) 令和５年第２回市議会定例会について

担当者)

令和５年第２回市議会定例会について、総務部長よりご説明いたします。
会期につきましては、６月１６日から６月２９日までの１４日間で、一般質問通告件名につきましては、１２名から、通告を受けております。

提出案件ではありますが、報告が２件、提出議案が１６件であります。

案件の内容につきまして、ご説明をいたします。

はじめに、報告であります。

報告第１号及び、報告第２号は、令和４年度内に事業が完了できなかったことに伴う繰越明許費の報告であります。

次に、提出議案であります。

議案第１号及び議案第２号は、それぞれ「令和４年度及び令和５年度の補正予算」に係る専決処分についてであります。

議案第３号及び議案第４号は、それぞれ「条例の一部改正」に係る専決処分についてであります。

議案第５号は、「監査委員の選任について」ではありますが、監査委員を選任しようとして、議会の同意を求めるものであります。

議案第６号は、「市道路線の認定について」ではありますが、市道路線を認定しようとするものであります。

議案第７号及び議案第８号は、「財産の取得について」ではありますが、それぞれ消防ポンプ自動車の買入れ及び旧吉田家住宅主屋復旧事業の用に供する土地を取得しようとするものであります。

議案第９号は、「陸前高田市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」ではありますが、新型コロナウイルス感染症に対応し、特例として支給していた防疫等作業手当を廃止しようとするものであります。

議案第１０号は、「陸前高田市特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例」ではありますが、省令の一部改正に伴う所要の改

正であります。

議案第 11 号は、「陸前高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」ですが、国民健康保険税の税率を改定しようとするものであります。

議案第 12 号は、「陸前高田市子ども、妊産婦及び重度心身障がい者医療費給付条例の一部を改正する条例」ですが、医療費給付事業における現物給付の対象を拡大しようとするものであります。

議案第 13 号は、「陸前高田市火災予防条例の一部を改正する条例」ですが、省令の一部改正に伴う所要の改正であります。

議案第 14 号は、「令和 5 年度陸前高田市一般会計補正予算（第 2 号）」であります。

一般会計補正予算（第 2 号）の内容であります。住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費、令和 5 年 3 月豪雨災害に係る災害復旧事業費、及び人件費等の補正を計上しているところであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ 1 億 1,587 万 7 千円を追加し、総額をそれぞれ 160 億 6,831 万 7 千円とするものであります。事業の主な内容につきましては、補正予算説明書の 2 ページ以降に記載しておりますので、参照願います。

議案第 15 号及び議案第 16 号は、「国民健康保険特別会計」及び「介護保険特別会計」の補正予算であります。説明は割愛させていただきます。

以上で、「令和 5 年第 2 回市議会定例会について」の説明を終わります。

【質疑】

質 問)

防災行政情報ホームページ連携保守業務委託の具体的な内容は。

また、佐々木市長の公約関連の予算は組み込まれているのか。

消防長)

防災行政無線とホームページをリンクしようとしており、その保守作業を行うものである。

市 長)

公約実現に向け、大学関係者との面談や企業関係者との意見交換を行っているが、今回の補正予算において、何か具体的に予算を計上し、実施することはない。

(2) 米国クレセントシティ市訪問団の来訪について

担当者)

東日本大震災の津波で流失した岩手県立高田高等学校の実習船「かもめ」の漂着・返還から交流が始まり、現在は姉妹都市関係となっている米国クレセントシティ市から訪問団を迎え、市民との交流事業を行うこととしております。訪問者はブレイク・インスコア前市長ほか14名。うち、高校生2名は県立高田高等学校に短期留学体験を予定しております。訪問期間は、令和5年6月25日（日）から6月30日（金）までの6日間となっております。

主な交流事業は、6月26日（月）朝9時に市長の表敬訪問、その際、市職員による出迎えを予定しております。6月28日（水）午前10時から、カモメ漂着10周年記念行事を市立博物館で予定しておりますが、行事予定で詳細を説明いたします。6月28日（木）市民歓迎行事をカモシーで予定しております。6月29日（木）訪問団代表によるスピーチを議場で予定しているところでございます。現在の予定はこのような予定になっておりますが、今後、訪問団との調整で変更になる可能性もありますので、ご了承お願いいたします。

(3) 令和5年6月から9月までの行事予定について

担当者)

6月28日（水）午前10時に実習船かもめ漂着十周年記念タイルアート受入式を市立博物館で行います。クレセントシティ市との交流が始まってから、10年を迎えることを記念しまして、実習船かもめをモチーフにしたタイルアートがクレセントシティ市から寄贈されることとなったことに伴いまして、タイルアート受入式を開催するものでございます。

7月2日（日）9時30分から令和5年度陸前高田市水防演習を行います。会場は横田町太田地内気仙川左岸堤防。水防隊の出動ということで、警戒動員、午前8時30分に始まりまして、部隊解除が午前11時30分を予定しているところでございます。

7月15日（土）高田松原海水浴場海開きと広田海水浴場海開きを予定しております。高田松原海水浴場につきまして、開設期間は令和5年7月15日（土）から8月20日（日）までを予定しております。この開催期間につきましては、広田海水浴場も同じ期間を予定しているところでございます。海開き式典であります。高田松原海水浴場では、7月15日（土）の8時45分、広田海水浴場では、10時30分を予定しているところでございます。

同日から16日（日）まで、フレスコボール公式大会「フレスコボールリクゼンタカタカップ2023」を高田松原海水浴場で予定しております。悪天候に備えまして、予備日を17日（月）にしております。主催は一般社団法人日本フレスコボール協会でございます。

16日（日）陸前高田パラスポーツフェスティバル2023を市総合交流センター（夢アリーナたかた）で予定しております。パラスポーツの体験イベント及び交流を通じて、パラスポーツへの認知度向上を図り、障がい者の社会参加を促進します。それから、誰もが親しめるスポーツとして、市民の体力向上及び健康増進への機運を高め、生涯スポーツ取り組み創出の一助とするものでございます。主催は、陸前高田パラスポーツフェスティバル実行委員会で、会場は総合交流センター（夢アリーナたかた）。内容であります、パラリンピアンによる講演会、それから、パラフェンシング、パラアーチェリー、ボッチャ、モルック、スラローム体験ということで5つの体験がございます。

22日（土）12時30分から2023プロ野球イースタン・リーグ公式戦「楽天イーグルス 対 千葉ロッテ」を楽天イーグルス奇跡の一本松球場（市高田松原運動公園第一野球場）で開催いたします。楽天イーグルスは東北5県でのイースタン・リーグ公式戦を開催しておりますが、岩手県内では本市のみの開催でございます。主催は、株式会社楽天野球団でございます。

30日（日）2023陸前高田ビーチバレーボール大会を高田松原海水浴場の特設コートで行います。参加チーム数等でございますが、1チーム最大7名までとして、48チーム、男女混合の4人制、男性が2名以内、女性が2名以上で最大2名まで交替可能としております。競技方式はトーナメント方式でラリーポイント制の21点1セットマッチ。主催は陸前高田ビーチバレーボール実行委員会でございます。

同日14時30分から名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートを奇跡の一本松ホール（市民文化会館）で行います。このコンサートにつきましては、令和2年4月に市民文化会館の開館記念行事として予定されたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期となっていたもので、名古屋市のご配慮により、3年を経て開催するものでございます。主催は、公益社団法人日本オーケストラ連盟。同じく公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団と陸前高田市でございます。チケット販売は、6月17日（土）午前9時から。全席指定の前売券が2,000円、当日券は2,500円となります。電話での販売につきましては、6月18日（日）午前9時からとなっております。販売場所及びチケットの問い合わせ先でございますが、奇跡の一本松ホール（市民文化会館）となっております。A4版のパンフレットを添付しておりますので、参照をお願いいたします。

8月1日（火）から10月31日（火）まで、第12回ツール・ド・三陸を陸前高田市内、大船渡市内、住田町内、宮城県気仙沼市内で開催いたします。今年度もサイクリングアプリを使用して、期間内に各参加者がコース上のスポットに立ち寄る期間型のイベントとして開催いたしますが、8月27日（日）には、集合型の1DAYサイクリングも予定しており、1日だけ実際のサイクリングとなります。コースの予定でございますが、山、海、食、島、人ということで5コースを予定しているところでございます。参加費（予定）も1,500円から2,000円となっております。主催者は、ツール・ド・三陸2023実行委員会でございます。

8月7日（月）気仙町けんか七夕まつりと高田町うごく七夕まつりが開催されます。気仙町けんか七夕まつりにつきましては、主催が気仙町けんか七夕祭り保存連合会。内容といたしましては、山車2台を製作して、今泉地区内を練り歩き、山車2台をぶつけ合うということになります。高田町うごく七夕まつりにつきましては、主催が高田町うごく七夕実行委員会、内容でございますが、今後実行委員会および各祭組で検討する予定でございます。

9月10日（日）午前10時から第7回川崎フロンターレにこここサッカー教室を予定しております。場所は川崎フロンターレ東北のカリフロニアフィールド（高田松原運動公園第一サッカー場）でございます。受付は午前9時から開始いたします。定員は50名程度を予定しておりまして、募集期間は8月1日（火）から8月25日（金）まででございます。主催は陸前高田市と株式会社川崎フロンターレ、詳細が決まりましたら、またお知らせをさせていただきたいと思っております。

【質疑】

質 疑)

クレセントシティ市の訪問団メンバーの概要は。

観光交流課長)

前クレセントシティ市長のブレイク・インスコア氏、デルノーテ郡議員のクリス・ハワード氏、郡と市の教育長のジェフ・ハリス氏が要職のメンバーである。その他、そのご家族が主なメンバーである。

また、前述した高田高校に留学予定の高校生が2名、寄贈されるタイルアート製作者が2名である。

質 疑)

市民歓迎行事の概要は。

観光交流課長)

市民歓迎行事は公式で行い、発酵の里カモシーにて実施予定。

また、主な交流事業に記載はないが、市内の再建施設や高田松原復興祈念公園など

復興に資するような場所や施設の見学、地場産品の見学をとおして、これまでの12年間の本市の歩みを知っていただくことと、過去に本市からクレセントシティに訪問した時に交流のあった市民との触れ合いということを重点におき、交流を進めていく。

質 疑)

市長が、震災後に生まれた縁が続いてきていることや今後本市との関係に期待していることは。

市 長)

名古屋市やクレセントシティ市など、共通しているのが、長い年を経ても細くなるのではなく、これからもより強い絆で友好的な関係を築いていきたいと思います、皆さんが我々と一緒に活動してくれていることが本当にありがたいと思っている。

質 疑)

クレセントシティ市から本市への来訪実績は。

姉妹都市協定を締結した日時は。

観光交流課長)

交流実績について、最初は2014年の1月にデルノーテ高校の高校生、教員、関係者の来訪がスタートした。その時からデルノーテ高校と高田高校の交流が始まる。2018年の2月にクレセントシティ市デルノーテ郡の代表団の訪問があり、当時、クレセントシティ市の市長であったインスコア市長から、議会でスピーチを頂戴した。このスピーチを聞いた当時の戸羽市長が、クレセントシティ市との友好関係をより強固なものにしていくため、姉妹都市協定を進めた。同年4月に当時の市長と議長を含む20名の訪問団を結成し、クレセントシティ市に出向き、1回目の姉妹都市協定の英文の調印式を行った。その2か月後、6月にクレセントシティ市から訪問団が訪れ、日本文の調印式を行った。その後2019年に、今度は産業団体、教育者の訪問団が訪れた。その後、本市の教育関係者がクレセントシティを訪問するといった相互の交流が複数回あり、現在に至る。

質 疑)

姉妹都市になったのは、2018年の4月ということか。

あと、クレセントシティの方は少なくとも3回は本市を訪れているということか。

観光交流課長)

2018年の4月に英文の調印式があり、その2か月後、日本文の調印式をしているため、日にちは4月16日である。

訪問は3回となる。(後段で修正あり)

質 疑)

高校生2人の短期留学体験は、この訪問期間中に実施するのか。

また、タイルアートのサイズや展示方法は。

観光交流課長)

高校生の留学について、今回はゲイブ・ハワード氏という男性の方、この方は前述した郡の議長クリス・ハワード氏の息子であり、1か月の留学を予定している。また、チャールストン・タイガード氏という女性の方も1週間の留学予定。

なお、この訪問団が帰ってから残っての留学となる。

教育次長)

タイルアートについて、大きさは約2m×2m。内容は、イメージとして葛飾北斎の富嶽三十六景のようなものであり、大波があり、一本松が立ち、地球の上でかもめを持ち上げている内容である。

設置場所は屋外を予定しており、博物館入り口の向かいの芝生を今のところを考えている。

質 疑)

海開きについて、民間企業が水上アスレチックを開設するといったお知らせを流しているが、この事業と市との関係は。

観光交流課長)

奥州市の民間事業者から、海上アスレチックを海水浴場の中で行いたいという申し入れがあり、岩手県の許可を取り、有料で事業を行うと聞いている。市で契約を結んでいるということではなく、海の家のような一事業者が海水浴場内で事業を行う位置づけ。

質 疑)

事業者の名前は。

観光交流課長)

記者会見終了後に担当係長から確認する。

その他

質 疑)

市長挨拶において、植樹祭のことに触れていたが、両陛下との対応、市長の役割、本市での開催等に対する市長の所感は。レガシーとして今後市で行っていく、伝承していくことはあるか。

市 長)

49年ぶりの植樹祭の開催を受けて、市として行うなど具体的に決まっていることはない。しかし、天皇皇后両陛下がお手植えした木などは、これから当市に根付くものであるため、その取り扱いや成功裏に行われた植樹祭が末永く記念に残るような取り組みはしたいと思っている。

また、今回、天皇皇后両陛下に高田松原津波復興祈念公園内の震災遺構をご覧にな

っていただいたり、語り部等の活動を行っている市民の方々と触れ合っていただきました。私が、今回のご訪問で1番心に残っていることとして、両陛下のお見送りの際に、市民の方々と触れ合ったことなどを踏まえて、天皇陛下から、「これから大変なことがいろいろあると思いますけれども、頑張ってください。」という励ましの言葉をいただきました。本当にありがたく思っております。皇后陛下からは、「昨日、奇跡の一本松を見せてもらい、今日も（式典会場に行く）車の中から奇跡の一本松をじっと見ていました。奇跡の一本松の姿をしっかりと目に焼き付けました。」というお言葉をいただきました。陸前高田のことを常に思っていただけということだと受け取らせていただきました。非常にありがたく、感動的なお言葉でした。本当に両陛下には陸前高田に強く思いを寄せていただいたと思っています。

植樹祭については、式典に出席した側はあっという間でしたが、時間をかけて、植樹をする苗木を生徒さんたちが育ててくれるなど、皆さんに心のこもった準備をしていただきました。リハーサルの際は雨だったため、とても天気が心配でしたが、当日は快晴で、皆さんが素晴らしい踊りやパフォーマンスを披露できてよかったと思いました。

質 疑)

給付型奨学金について、以前の記者懇談会のなかで目途は早めにつきそうだとの話があったが、今回の定例会に盛り込んでいないのか。

市 長)

新年度から始まる学生さんを対象にした取り組みのため、次の9月議会でお諮りする予定。現在は財源や条件などの内容を検討中である。

質 疑)

市長公約について、地域交通体制や医療体制等で市民や有識者による検討会議を作る旨の表明があったが、現在の進捗状況は。

市 長)

地域公共交通については、検討会を立ち上げる前の段階で、現状の問題点がかなりある。昨年度もバスの便の廃止や減便、最近はある企業のバス運転手が確保できないなど、様々な問題点に現在対応している。早めにそのような現状の厳しさを精査し、どのような角度からどのようなメンバーで検討するのか固めたい。特に、自動運転のような新しい技術は、他の自治体でも先行して取り組まれる事例が出てきており、どのように取り組むのが良いか検討したい。

医療体制については、今のところは当市にも、例えば、広田診療所とか二又診療所の先生など、まずは地域医療に精通されている方々から意見を聞きつつ、地域全体、あるいは県立大船渡病院等の方々からの意見も踏まえながら、人選をし、立ち上げようと考えているが、まだできていない。

質 疑)

自動車避難について、有識者によって自動車の混雑予測等をするための会議を立ち上げるといった話が先日の記者懇談会であったが、予定は決まっているか。

防災課長)

会議を現在準備中であり、今年度早々に開始していく予定である。

質 疑)

今月、来月ではなく、もう少し先になるか。

防災局長)

その点も含め、検討中。

質 疑)

奨学金について、運用は来年度からになるか。

教育次長)

現在、内容を検討している。奨学金は、学校に入る際の一時金と毎月給付する給付金ある。毎月給付する分は来年度予算になるが、一時金は来年度入学する方が対象となると、今年度予算の措置ということもある。運用は来年度の入学者が対象となる。

質疑)

市長がいくつか掲げていた公約のなかで、具体的に打ち出した第1弾となるか。

市長)

出来上がったものを皆さんにお見せしないといけないと考えているが、そのつもりで作業中である。

観光交流課長)

クレセントシティ市への訪問回数を訂正する。クレセントシティから本市への訪問した回数は7回、今回で8回目となる。本市からクレセントシティへの訪問回数は6回である。

進 行)

これをもちまして、令和5年度第1回記者会見を閉会する。

なお、次回、記者懇談会の日程は、7月18日(火)午後2時から3時までを予定している。懇談テーマは、7月10日(月)までにお知らせいただきたい。